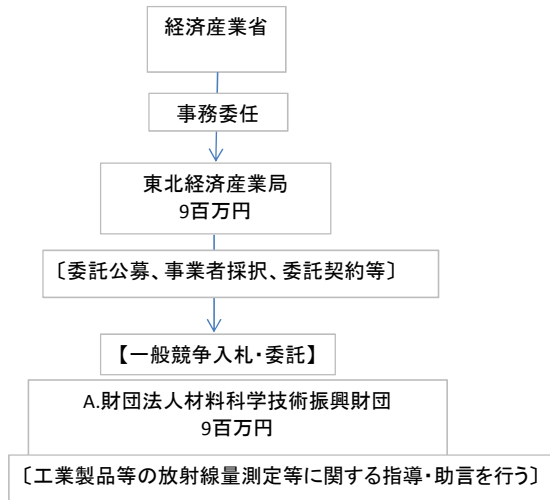


平成24年行政事業レビューシート (復興庁・経済産業省)

事業名	国内放射線量測定等支援事業 (平成25年度:「放射線量測定指導・助言事業(委託)」) (復興関連事業)		担当部局庁	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 経済産業省地域経済産業G 地域技術課		作成責任者	参事官 尾関 良夫 課長 小野 裕章		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成28年度		担当課室						
会計区分	平成23年度:一般会計 平成25年度:東日本大震災復興特別会計		施策名	1. 経済成長					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定) 福島復興再生基本方針(平成24年7月13日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	今後、警戒区域等の見直しにより企業立地や帰還企業の操業再開の進展が予想されることから、工業製品等の風評被害対策を目的として、工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する事業を実施する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国内放射線量測定等に関する、以下の支援事業を実施。 ①放射線量測定指導・助言事業(委託) 福島県を中心として民間事業者等に工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する事業。 ②放射線量測定拠点整備事業(定額補助(1/2以内)) (平成23年度3次補正事業) 特定被災地域において、工業製品等の放射線量測定等を行う拠点整備に必要な経費の補助。※23年度3次補正限り ※25年度は復興庁で一括計上し、経済産業省で実施する事業。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	63(復興庁計上)	
		補正予算	-	-	193	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-57	57	-	-	
		計	-	-	136	57	63	-	
	執行額	-	-	9	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	6.6%	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカ ム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	成果実績		件						
	達成度		%						
活動指標及び 活動実績 (アウトプ ット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	活動実績		(当初見込み)				94	-	
	相談対応件数		()			(960)	()		
単位当たり コスト	99,527(円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=執行額(9,355,513円)/相談対応件数(94件)					
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	人件費		35	平成25年度は復興庁一括計上					
	事業費		22						
	一般管理費		6						
	計	0百万円	63百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、福島第一原子力発電所の事故による工業製品への風評被害への対策として、放射線量測定等の専門家チームの派遣や、放射線量測定等を行う拠点整備を支援を行うもので、ニーズがあり優先度が高く、また国が実施すべき事業である。不用率が大きい理由については、把握している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	入札・公募によって事業者を選定しており、支出先の選定は妥当である。また、放射線量測定拠点整備事業については補助率1/2以内の定額補助としているため、受益者負担は妥当と考える。また、採択に当たって、コスト水準の妥当性、費目・用途の必要性を事務的にチェックしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の所有する資材等を有効活用することにより、当初予定していた単位当たりコストを大幅に削減した。 ・H23年度終了時では、相談対応件数が当初見込み実績の1割弱であるものの、当事業は繰越して事業継続中である。 		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	繰り越した事業については、引き続き被災地のニーズを踏まえ適切に実施していくこと。また、線量検査の実施が製品の風評被害払拭に役立っていたのか、風評被害の現状・実態と併せて説明すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	繰り越した事業については適切に実施することとしている。放射線量測定等に関する指導・助言を通じ、測定結果を取引先に提示する等によって、風評被害の払拭に役立っており、今後、警戒区域等の見直しにより、企業立地や帰還企業の操業再開の進展が予想されることから、引き続き、当該事業を実施することが必要。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	チェックシート0006



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. (財) 材料科学技術振興財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	専門家及び補助員	6			
旅費交通費	専門家旅費	2			
その他	データ通信費、消耗品購入、報告書発送費等	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の
 双方で実情が分かるよう
 に記載)

支出先上位10者リスト

A. 委託（一般競争入札）

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)材料科学技術振興財団	福島県を中心として民間事業者等に工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する。	9	1	90%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					